

若者の県内定着に向けた産・学等と連携した取組みの推進(キャリア教育の推進)

1 現状と課題

本県の基本的な方針

- (1) 第4次山形県総合発展計画
政策の柱1-3 若者の定着・回帰の促進
政策の柱3-1 IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
- (2) 第6次山形県教育振興計画(後期計画)
主要施策10 自己実現を図るための勤労観・職業観の育成



現状と課題

	【将来の夢や希望を持っている児童生徒の割合】			【高校生の県内就職率】(県内就職内定者数/全就職内定者数)			
	H31	目標(R6)	R2	H30	目標(R6)	R元	R2
小6	84.8%	88.0%	81.2%	77.9%	80%以上	74.2%	80.1%
中3	72.3%	75.0%	72.3%				

※令和2年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書

令和2年度 県内就職が増加(コロナ禍による首都圏回避の志向等も影響)
⇒ポストコロナも見据え、高校生の県内就職率を維持向上させていく必要

2 取組方向

探究型学習の取組みを活かしながら、児童生徒が自らのキャリアをデザインする能力を育成するための系統的・体系的なキャリア教育を推進し、関係機関(県内大学、企業等)との更なる連携により、県内で自己実現を図り活躍する人材を育成する。

